

Copyright 日本建築学会

昭和十六年
（學術的）
常用英語語彙

Note Book

Made of Paper
Specially Prepared in Japan

昭和十六年

佛祖院記

海州)

東風志 志樂著

コレロ檢録之 殊處 志樂
在刻十代 日本之 志樂 志樂

支那の 志樂 志樂 志樂
志樂 志樂 志樂 志樂
志樂 志樂 志樂 志樂

志樂 志樂 志樂 志樂
志樂 志樂 志樂 志樂

支那
志樂
志樂

志樂 志樂 志樂 志樂
志樂 志樂 志樂 志樂
志樂 志樂 志樂 志樂
志樂 志樂 志樂 志樂

志樂
志樂

志樂 志樂 Kabapaatanga

志樂 志樂 Alamaraksa

志樂 志樂 Kyanajiva

志樂 志樂 Byddellava

志樂 志樂 Buddhalanga

志樂 志樂

志樂
志樂
志樂

善無畏 =

金剛智 =

不空 = Amoga

阿保城 =

世親 *Bhasubhandu* (天親)

無着 *Asanga*

龍樹 *Nagarjuna*

北齊書卷七
帝紀第七武成
總持寺 興聖寺

(河清二年)五月壬午詔以城南
藥園園位之苑迴造大總持寺(即)
秋八月辛丑詔以三臺宮為大興聖
寺

北齊書卷八
帝紀第八後主

(天統二年)三月乙巳太上皇帝詔以
三臺施興聖寺以旱故降禁囚(魏)

(天統五年)春正月辛亥詔以金鳳寺
三臺未入寺者施大興聖寺(中興)

二月乙丑詔應官刑者皆免刑易官
口又詔禁網捕鷹鷂及鷩鷩……

1894年 フォーバー[○]は古代及新代に
西方起源論ヲ著スル。カルデア文化の原
源を説キリ。

リヒトホーセンは其の著「夏那」に於て
吾邦民族の原郷地をパルスの東側と
推定シ、発祥の地を黄河流域の下
に推定セリトす

ヒルトハ古代及新代が陝西甘肅の地
ヲシテ源の地ヲ示シ、其地を明定セズ。

但し其法學上、西方の例に流シ、
西方の單級漢字と關係アルヲ暗示ス

○英國ロンドン大學教授フエリソン、F. F. F. F.

浜田耕介氏は、フォーベリが漢民族の發
祥地が Babylonia であるとの論
は、バビロン(巴比)の地を以テ其地と
いふより、
リヒトホーセンの西域于儀原地ヲ如
ボールのスメル人と同種ヲ見
テ、漢字の比較ヲ基クテ、吾邦民族
の源を「巴比」と推定セリ
市村瓊次郎氏もフォーベリ見を採リ
セリ。

(Yin-chiang-chiao)!

Ningkiang Kiao? 鄞江橋

浙江省杭州湾口甬寧波の西南

Ningkiang (Ning-chang) = 寧羌?

Linkiang = 臨江壩

鄞縣東南二十里

Nintsochang 存 = 寧? 所

古生物學史を立場とするオスボーンは

中央アジアを世界の中心と見る

東洋史を立場とする白鳥庫吉氏は

アジア大陸の高原地帯を世界の中心と見


1822-1923, 1925年 R.C. アン德里ウス探
検隊がゴビの沙漠を調査した

一帯の子ルンは沙漠の中で古石炭を發見
した。アン德里ウスは動物学者である。報告
として「古代人間の跡」が 1926 年刊行さ
れて居る。

オスボーンはこの探検の外面者で、ア
メリカ自然科學博物館長で、アン德里ウスの
報告の序文を書き、又「三百万年先の
巨大獣類」を著して居る。

儀礼図

闕 = 宮中の小門 聖徳太子御所

个 = 庇  の如き屋根ある小門也。

室 = 最も奥にある部屋を云く。

堂 = 宮殿、正寝、表堂、尚と土の混成
(土を高く築き、石を敷く)

露 = 雨樋、Gargyle 埴土の吐物?

階 = 宮殿の東の階、天沼子御所は築山に
行つ時、東の階(階)より登る。
不在はこれより来る。

辰 = 棚、棚の藏む。

夾 = 廊の両脇の室。

塾 = 門側の東西の堂

梁 = 屋根の柱、檼、屋梁

序 = 室前の東西の廊、故ノ

塙 = 城の塙壁

途 = 道路

箱 = 車内の器入れ、荷倉、廂、通子

扉 = 門中の欄、門中の欄

雉 = 城の単位、長三丈、高一丈
雉門は宮城の南門

榭 = 屋宇の臺、宣室の廟。

棖 = 門の楔、杖。

宇 = 門扉の間、庭。

站 = 土を積みたる屏障、坏の臺

- 文政の七仙等き建つ(白鳥南) --- 1275
 (後漢明帝永平18)
 文政の七獅子き建つ
 (有皇親王より) 孝帝 孝和 1. 87
 月氏 國王 獅子 并 城 各 7 献す
 孝帝 孝和 2. 88
 安皇 國王 瑞 虎 獅子 及 條 五 匹
 大 鳥 各 献す 和 帝 永 元 13. 101
 疏 勒 王 臣 解 稱 送 封 牛 各 献す
 順 帝 陽 嘉 2. 133
 大秦 國王 安 敦。日 南 檀 越 外 二 尊
 各 牙 骨 各 瑞 璽 各 各 献す
 桓 帝 延 熹 7. 166
 ○ 魏 帝 大 安 帝 各 7
 吳 帝 建 寧 3 or 4 170
 (171)
 ○ 晉 融 廣 陵 七 仙 等 各 建 工 並 各 傳 傳 送す
 獻 帝 初 平 4 173
 ○ 吳 帝 孫 休 各 建つ
 獻 帝 延 康 1. (孫 休 2 or 3 or 4) 220

武 氏 順 桓 帝 孝 和 1. 147

慈 堂 山 順 帝 永 泰 4 以 昔 129

獅子は初来不詳、1. 1275に於ては武氏用
 のもの、不詳、6. 0 年 月 日 未 詳
 コノ時仙等はボツクと云ふは、七と云ふは
 遺存の記録あり、東に佛尊建等あり、
 1. 1275



攝生四要

1. 思慮を少くして神を養ふ
2. 慾を少くして精を養ふ
3. 勞を少くして力を養ふ
4. 言語を少くして氣を養ふ

攝生七養

1. 言語を少くして 内氣を養ふ
2. 色慾を戒めて 精氣を養ふ
3. 滋味を薄くして 血氣を養ふ
4. 結滯を吞んで 臟氣を養ふ
5. 嗔怒を去りて 肝氣を養ふ
6. 飲食を控えて 胃氣を養ふ
7. 思慮を少くして 心氣を養ふ

明の沈氏(詳細算法)あり、

宋に(算学源流)(数術記遺あり)

一以下の(算学源流)にあり。

分釐毫, 絲, 忽, 微, 塵, 沙, 漠, 幽, 虛, 空, 清, 淨

十二律呂とその数(月)

1	黄鐘	(黄)	91(0)	2	林鐘	(木)	79(6)
3	太簇	(南)	72(1)	4	南呂	(西)	48(2)
5	姑洗	(北)	64(2)	6	應鐘	(東)	42(4)
7	蕤賓	(午)	57(3)	8	天呂	(北)	46(2)
9	夷則	(申)	51(4)	10	夾鐘	(南)	48(2)
11	七	(酉)	45(5)	12	中呂	(東)	60(0)

呂(陰)

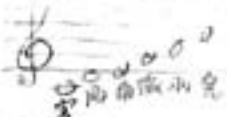
律呂の音階(三分法による)

1	1	1.000
2	2	0.666
3	3	0.333
4	4	2.571
5	5	0.177
6	6	0.210
7	7	0.142
8	8	0.125
9	9	0.111
10	10	0.100
11	11	0.090
12	12	0.083

七聲に半音を入れたものが十二律呂
新音階を律旋, 旧音階を呂旋といふ

五聲と音階

- 宮 — $9 \times 9 = 81$ (四崩) 二重味不明
- 徵 — $81 \times \frac{2}{3} = 108$ (二分律一)
- 商 — $108 \times \frac{2}{3} = 144$ (五分律一)
- 羽 — $144 \times \frac{2}{3} = 192$ (二分律一)
- 角 — $192 \times \frac{2}{3} = 256$ (五分律一)



後二つ加へ七聲とす、則ち
重後、重字の
音



黄鐘の管寸法

横徑	101.250	53.807, 401
徑	1.6.4	1.3.7
長	4.5.0.0	3.6.4.5

大呂

4.2.1.3 3.9.1.3.

大蕤

4.0.0.0 3.2.4.0

夾鐘	3.7.4.5	3.0.3.4
姑洗	3.5.5.5	2.7.9.1
仲呂	3.3.2.9.	2.6.7.6
蕤賓	3.1.6.0	2.5.6.0
林鐘	3.0.0.0	2.4.3.0
夷則	2.8.0.9	2.2.7.5
南呂	2.6.6.6	2.1.6.0
無射	2.4.7.7	2.0.2.2
應鐘	2.3.7.0	1.7.2.0

蝦夷入寇 **新寇**

蝦夷入寇

坂上田村麿之を撃滅す

宇多天皇寛平六年九月
新羅の賊 新羅を討つ 島中反逆者
之を撃退す

後一條天皇寛仁三年

刀伊賊を撃退す

文永の寇

弘安の寇

應永二十六年六月十六日

朝解軍對島に東寇す

外征

京都市丰后門の緯度は

35° 40' 8" あり

夏至の時の太陽南中の高さは、
豊後門に於て

77° 46' あり

同じく冬至に於て

30° 54' あり

(平山儀氏問答)

Quebec 1759

Shelton 1759

Sabachins 大 1600

Brook 空 1600

Neuchâtel 1720

Neuchâtel 1720

Neuchâtel 1720

Neuchâtel 1720

Neuchâtel 1720

Neuchâtel 1720

Neuchâtel 1720

Neuchâtel 1720

六島

1. 聖歌

2. 十子

3. 馬頭

4. 十面

5. 度 (温 温)

6. 如名輪

阿片戦争の詔書 (阿片因掉奪)
英佛の意

1860 (慶應十年 十月七日、八月に返り)

仙軍は阿片園を掉奪す。

後れたる英軍は残党を掉奪す。

上 18, 19 両日返りて煙草の完全

奪取とせり。

彼等八長髪賊の與に清朝を滅ぼ

せんとす。意志ありて、実行すに至り。

清を七はす。40 萬仙あり。後、米高加す。

中韓兩國を亡ぼさんとす。は英仏あり

(ソ耶之に兵加す。後、米國 奪取)

愛造法式

明治二十八年八月十三日 東京 愛造法式の大建築
(徳島、中村、徳島、大江、大船、内丸、北)

二十六日 奉天

二十九日 奉天 城政務、文湖閣に入り四座全書の
見(伊原、中村、四座)。愛造法式が完成し整理ス。
福島の少将子食ひ 中村氏の古式書、予の愛造法
式の研究ニ必用ニツキテ候。

三十日 福島少将、又中大臣英直、電報ヲ送ス。曰ク
「伊原中村一付健康ニテ日々勉強シ候レシ、
各地実地内ニ再ヒ層層ト重要ナル文章ヲ完成セシ、
之ヲ著シトシハ一付ハ大業ニヨリ遺言ニ至ラ
ズト送リテハ如何」
(附厚、敬答ヲ返答シテリ奉事)

九月七日 福島少将、而会

愛造法式七冊ハセ、借出シテ、文部省コソハ
留書セテ送ルニ込込電ヲツ

十四日 愛造法式ノ開ク書ス

十一月十五日 帰宅

歸來後愛造法式 翠中 帝大ニ送ル。即チ
原書ノ体裁ニ製カシ、大分ニ成ル。
他ニ研究内容多ク、支那建築研究ニ波瀾ニ起ル
べく、英誌セシハ遺憾ニラシ。送ル世ニ紙ヲセ
ざるニ至極也。

愛読法式 (發行を失い、直書のみニ三冊有り)

民国八年(大正八年)朱啓鈴文記のて
江蘇省立圖書館に托て手寫本一冊、愛史
館長上海商務印書館より石印刊行せしむ。
但し之に空本ナリ也。
朱氏、陶湘の協力(當時朱、内務部長、繼、
中央煤礦公司総理ナリトシテ)、四原金
書の文淵閣本、文津閣本、その他、撰て
志心校讎し、民国十四年(大正十四年)
に至り、重山一冊を刊行し、名ヲ

仿宋重刊李氏仲愛法式
ト云ヒ一冊八冊、商務印書館の刊行
コ、影響多大。自國の國學界ニモ、注意ヲ
喚起シ、日本ハ、英、露、仏等、皆ナル

工程法則刊

則例ハ、清代官衙ノ十年一修ヲ、法則トシテ
編纂セラルル行匠上の實例集
工程関係の則例ハ、愛史の必要、朱氏努力シテ
之ヲ整理シテ

民国十八年(昭和四年)中華教育文化基金
委員會の愛史學社、毎年一萬五千ニテ、支
給スル也。

同十九年(昭和五年)北平空疎、朝同七号ヲ
正式ニ愛史學社成立

漢語字源考第一冊(昭和六年三月刊)
北政部に托テ古蹟古物ヲ概説
— 興亞宗敎協会
(漢語院、北平建設部内)

論説

日本近代建築の源流
(秀女學講座 13)
支那建築の源流と直隷思想
(支那合漢記)
アンコルワト 新亞細亞

愛史考 (秀女學雜誌)

日本文化の三重相

書け聞榮あり

雑感

日中に建築家ふし
 法苑の研究の動機
 未だ有る会創立当時の思ひ出
 予と入野達夫や士
 岡野や士を懐い
 塚平結衣を懐い
 漫画雑感
 佐々功一君を懐い

随筆

龍(史名天)
 巳(〃)
 餐食七國
 酒
 幻覚

紀行, 日誌
 訪独記
 大和記行
 雲間発見まで
 四年全 噴煙活式發見記

昭和十七年

	面積(坪)	人口(4年度)
仏印	7404	23030
タイ	5180	14464
マレー	1367	5286
フィリ	6050	14667
スマタラ	4736	9512
ジャバ	1373	48416
スラバヤ	2763	15784
ボルネオ	7500	3506

常用英和語彙

A

Aversion = 嫌意
Assiduity = 根気、勤奮
Arbours = 亭、園亭
Auriferous = 金産
Avert = 避ける、防く
Avalanche = 雪崩、文庫
Acquisition = 取得、獲得物
Agile = 敏捷
Arm-rest =
Auspicious = 日出度、吉平の
Adroit = 機敏
Accessory = 附帯の
Adobe = 日焼煉瓦
Aquiscent = 同意、

、

⑧

Barrier = 障門

Bastion = 稜堡

Blend = 融合する

Brow = 数(のり)

Brick = 瓦田記

Brisk = 快速, 疾く

Bandit = 盗賊

Bevilled = 直方(のり), 稜路, 隅角

beat a retreat = 退却する

bevel = 斜(のり), 面(のり)(建)



- Chaste = 貞操
Orcual = 鉄船
Calligraph = 能書, 筆耕者
cursive = 走書, 走(書)
Contending states = 戰國
Cereal = 穀類
comment = 評註, 說明
Concede = 承認
Capricious = 氣(不), 狡詐
Contention = 爭鬪, 論議
Commend = 賞鑒, 稱讚
Conducive = 為(不), 助(不)
Crass = 粗, 鈍
Calyx = 萼

①

dab = 輕巧な。

Dab = 名人, 上手 (遊戲など) (俗語)

deem = 認める, 思ふ

deft = 巧, 熟練。

dict = 口述する。

discern = 辨別する。

devise = 工をたてる, 考案する, 道徳的

duobind = 品類。

dwindle = 小くなる, 減落する

disseminate =

dissenting = 否決する

drought = 旱魃。

evastate = 蹂躪する, 荒らす, 破壊する

vainty = 美味, 珍味

sepiot = 描く。

Piper = 北斗七星

decipher = 破り解く

⑤

- eventual = 結局にて, 起る可い文に於て,
- evets = 水瓶
- enamour = 恋, 快楽, 喜ばす
- Elixir of life = 不老長生の薬
- encroach = 侵襲, 侵入
- equestrian = 騎馬の
- effulgence = 光輝
- exploit = 功績, 開発, 利用
- expulsion = 放逐
- ecstasy = 有頂天, 狂喜, 夢中
- exertion = 努力
- endear = 愛撫する, 親近せる。
- embody = 具象する。
- encounter =

(D)

felicitous = 恰好也, 恰好也, 多幸也。

fascinate = 魅惑也

feat = 功業, 功績, 巧也, 器用也

fagot = 束也, 杖, 杖束

fiat = 奉旨

flam-de-lis = 蒼尾, 蒼尾印也, 紅龍

flaunt = 揚也, 翻也

(17)

Green Room = 芝居の楽屋
groom = 馬丁
yaga = 教当物 (酒物)
grief = 不幸, 悲劇
grudgingly = 不承不承, 嫌々
gauge, gage = 標準規, 計量
glyphic = 彫文ある, 彫刻の

④

Heretic = 異教者

haphazard = 何の苦もなしに、偶然に

huddle = 4人ほど押し込み、詰め込む

heritage = 相傳射虎、遺産、遺傳

①

Infuse = 注し、
Ideograph = 表意文字、象字(漢字等)
Interment = 埋葬
infaluate =
install = 設備
infer = 推定する
insight = 看破、見地
Implicit = 包含する、音程
in fine = 要するに、
impose = 課する、
impetus = 原動力
impart = 分る、告知する
Ivadem = 全上

7

8

⑤

Keat = 控針

Knit = (釘子)の束

Knoll = 小丘

Knoll = 112912の2層を鳴らす

①

- loom = 大きく浮が出て来る
- Levy = 賦課する
- lord = 暴臨する
- lurk = 潜る
- loathe = 嫌ふ、罵る

(M)

Mendicant = 乞食坊主, 其鉢僧

Meander = 迂曲する

Mellow = 赤軟, 温潤

Manifest = 明示する

Myna = ?

Marquetry = 嵌嵌細工

Mood = 気, 様式

Myology = 菌学

Manipulate = 手で扱ふ, 繰廻する。

①

- Kaive = 天真爛漫, 辭氣不迫
- Nuance = 微妙な差異 (意味, 意匠, 色彩等)
- notch = 胡弓目
- Kuidance = 炊爨, 炊事, 建築

①

Ode = 踏、吸

Offhand = 即坐 =, 無動作 =

(P)

Profanation = 神聖な物, 神に敬

Promontory = 岬, 崎

Pontoon = 平底舟

Preponderance = 過重

Paraphernalia = 装束, 衣服, 器具類, 小道具

Puerility = 小供さ, 未熟さ

Pertinent = 對当さ

Pig wind = 豚の息

Philomina = 鳩, 白鳩

Pervade = 透る, 及ぶ, 遍る, 及らぬ

Primaevae = 原始より

Pendant = (pendant) 垂飾, 飾り物

Pestilent = 害毒さ

Painstaking = 丹念, 苦心

Participate = 参加する, 関与する

Perceive =

Prerogative = 大権, 帝王の特権

Permeate =

Presume = 假定する

Prone = 傾く, 向かう, 傾向する

Prescribe = 規定する

(L) Pari Passu = 同歩する, 共に

Precautions = 注意, 警戒, 防衛

Perfunctorily = 敷衍さ, 草率さ, 上り下り

㊦

quit = 脱去, 解散
query = 取问, 诘问

⑫

- relax = 弛緩したる
- raid = 侵襲する
- resolute = 決心堅意、影手たる。
- requisite = 必要の、不可缺の。
- adm = 押印(印), 突進せる。
- relish = 美味、美味する。
- revere = 畏敬する(宗教的)
- relentless = 残忍、嚴酷
- reveal = 示す、啓示する
- repository = 倉庫、貯蓄所、
- role = (劇) 俳優、役割、役。

⑤

- Stupendous = 誇りにく大なる
 Skip = 跳ぶ, 跳びぬぎ, 滑り落ちる, 省略する
 serene = 穏やかな, 平穏なる
 Spontaneous = 自発的, 任意的
 Stronuous = 熱心なる, 奮闘的
 Supersede = 取替へ, 廢棄する, 取て代る
 sui generis = 類地の, 無類の
 Stare = 凝視する, 見つめる
 Stead = 堅忍
 Spur = 拍車
 Senile = 老衰なる
 surmise = 臆測する
 Subsist =
 subconscious =
 severity = 正気, 見解の正しさ
~~stare~~
 sway = 偏重, 一方の勢
 slight = 軽侮する
 scent = 嗅ぎ分ける, 香気

①

Time and again = 屢々

Tassel = 穗子, 垂花

titled = 二階の

trend = 趨勢

tentative = 假説的, 試案の

thrive = 深へる, 盛る

trim = 整修する, 刈る

trod = 踏ふ, 下等な奴

tweeters = 銀子, 尾節

Tropic of Cancer = 北回線

tense = 緊張する

turmoil = 騒がす, 騒がす

torment = 苦痛する, 悩ます

tilling = 東南より北向に79942

token = 表符, 紀念物

trivial = くだらない, 瑣末な

trespassing = 家宅侵入

talisman = 魔除け

trip = 火頭(火事)

①

Ulcerate = 液爛也。腐爛也。たいて

Vie = 變遷

Verge = 際, 極

Vogue = 流行

Vernacular = 地方話, 國語, 自國語

Visualize =

Vex = 困, 煩

Val = 槽

(W)

Well-nigh = 殆ど

Wizard = 魔術師

Wasp = いばつと

Whisk = 華鬚, 刷毛,



2

Copyright 日本建築学会

昭和十六年

Note Book

Made of Paper
Specially Prepared for Japan

昭和
十六年

1. 研究の本質を把握し、その意義を明らかにする。

2. 内容は内外の歴史として整理し、その意義を明らかにする。

3. 雅楽の音律、楽譜、楽器等の資料を系統的に蒐集し、その意義を明らかにする。

4. 要するに資料の蒐集、整理、その努力を怠らぬ。

5. 報告書として之を公刊し、之を世に知らしむ。

6. 世に公表する論文として之を公刊し、之を世に知らしむ。

7. 研究は食物の如く、材料の乏しき相場であるが、調理法が不衛生な材料を用いてはならない。

8. 調理法は、その材料の性質を考慮し、之を最もよく利用する。

9. 音律は困難な十三律の①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬の音階の相互の関係を研究し、その意義を明らかにする。

10. 古代の音階の相互の関係を研究し、その意義を明らかにする。

11. 古くは料理の材料、歴史、その意義を明らかにする。

12. 古くは料理の材料、歴史、その意義を明らかにする。

一、音階の整理
二、音階の整理
三、音階の整理
四、音階の整理
五、音階の整理
六、音階の整理
七、音階の整理
八、音階の整理
九、音階の整理
十、音階の整理
十一、音階の整理
十二、音階の整理
十三、音階の整理

13. 二の音階、利行をもち、命を改め、音階の研究とせしめ、音階関係の資料として中とする。